

かがやき

学校だより第 5 号

令和 2 年 7 月 31 日

や やさしく・・・人権を大切にする いじめを許さない
ま まけない・・・よく考え ねばり強くやりぬく
だ ダイナミック・・・たくましく力強く 生き生きとしている

2020 年は教育改革の年！

6月1日(月)から学校が再開し、約2か月がたちました。子どもたちは少しずつリズムを取り戻し、落ち着いた学校生活を送ることができています。さて、2020 年は教育改革の年です。10年に1度の学習指導要領改訂の年に当たっていますので、かんたんに紹介します。

1、新学習指導要領 3 つの柱

新学習指導要領では、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力を三つの柱として整理されました。すべての教科で、この三つの柱が基本になります。

- ①知識、技能 → 実際の社会や生活で生きて働くか。
- ②思考力、判断力、表現力など → 未知の状況にも対応できるか。
- ③学びに向かう力、人間性など → 学んだことを社会に生かそうとするか。

2、何を学ぶのか？(下線が新設・変更部分です。)

- 国語 社会(3～6年) 算数 理科(3～6年) 生活(1～2年) 音楽 図画工作
家庭(5～6年) 体育 外国語(5～6年) 特別の教科 道徳 外国語活動(3～4年)
総合的な学習の時間(3～6年) 特別活動

3、保護者の皆さまへ(文部科学省 HP より抜粋)

子どもたちの「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、とても大切です。子どもたちが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。保護者の皆さまの働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。保護者の働きかけがある子どもの学力は高いという傾向があります。

例えば・・・

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
- テレビ ビデオ DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム(携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む)をする時間を限定している。
- 子どもに本や新聞を読むようにすすめている。
- 子どもに最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。

校長 南 喜普